

松沢範士の弓道講座 (第7回)

行射の際の個癖 (特に会の修正)

早気について

原因

1. 中て気が強い。 的を意識しすぎる
2. 弓力が強い。 体力負けして早く離す。
3. 息合いに無関心。呼吸を止めているため苦しくなって直ぐ離す。
4. 矢尺一杯に引いてない。 楽をしている。不安定な会。

(直し方)

1の場合

- ・巻藁で練習 これができても射場では早くなる人もある。
- ・射場で引いても離さないで元に戻す。
- ・前の人に併せて持つ。
- ・的を外して射る或いは的を置かずに射る。

2の場合

- ・弓力を落とす。 程々に弱い弓にして持つ。

3の場合

- ・一動作一呼吸の実践、会で吸う伸び合いで吐く、八、九部詰まったところが離れ。

4の場合

- ・矢尺を一杯に引く 手繰らないように注意して。

*的は狙うな 的は見よ

(見よ狙うな)の心境

*注意すると持てる人は直りが早い。

範士の先生でも昔早気があり弱弓を引いて直した。

もたれについて

原因

1. 磔に起因する場合
弦道の窪みが深い。
2. 右手手の内の使い方 力みが強い。
3. 不安・怖気
4. 狙いが決まらない
5. 矢口が開く

(直し方)

1の場合

- ・磔口が深いと切れが出ない
- ・修理か取替えの要有り。

2の場合

- ・取りかけは軟らかく特に親指への押さえを軽くする。

3の場合

- ・丹田に力を入れ、迷いを去る。気を強くもって発す。

4の場合

- ・素引き等を多くして引き納めるまでの動作を一定にする。

5の場合

- ・外張りを利かせ人差し指で優しく矢を押さえる。

*私の場合

37歳の時に一年ほどこの病にかかりました。会に入り中々離れができません。狙いもついて時期は来ても親指が撥ねないのです。今になって解ったことですが、親指の先端が薬指の第3関節に引っかかり、取れない状態になっていたのです。

先輩の先生に押さえが強い事を指摘され、修正どうにか離れが出るようになりました。

びくについて

原因

会に至る前に出ることと、会の中で出る場合とがあるが、後者が殆どである。

押手・勝手・息合い・狙いなどのうち、1カ所2カ所離れの時期に来たのに満たないところがある場合に発生する。特に狙いの迷いが多い。

(直し方)

狙いがついたら徐々に伸び合い、機満ちたら惜しまず発射する。果断實行

*私の場合

40代でかかりました。果断實行 迷いを断って思い切り開くのみです。

